

# 11月10日のウクライナ情報

安齋育郎

## ●アルジェリアが BRICS への正式参加申請-外務省(2022年11月8日)

現在ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカが参加している

アルゼンチンやイランも参加を希望しており、中国外務省によると他にもインドネシア、トルコ、サウジアラビア、エジプトなど数カ国が BRICS の門を叩いているという



※安齋注:ウクライナ戦争の土俵の外での一種の戦いが、これ“BRICs”の拡大ですね。アメリカのドルの価値に関わる重要な問題です。

## ●EU のコロナ・ワクチン取得について EU 検察が調査！(2022年11月8日)

※安齋注:EU のフォン・デア・ライエン委員長による史上最大の汚職かとささやかれてきた問題で、EU 検察当局が動き出したらしい。ウクライナ戦争に直接関係ないが、フォン・デア・ライエンはウクライナ戦争支援の旗振り役だから、ちょっと紹介します。

下の画像は、クリスティーヌ・アンダーソン欧州議会議員による討論で、「犯罪捜査が進行中である」と報告。「ウルスラ・フォン・デア・ライエンの夫はファイザーと関係があり、710 億ユーロ(約10兆円)に相当する契約について説明しなければならない」という。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1589808870599561217>



コロナ馬鹿なんて言われるのはもううんざりだが…

※安齋注:欧州議会のクリスティーヌ・アンダーソン議員の発言中のジョークで、新型コロナウイルス感染症を意味する Covid(コヴィッド)に引っ掛けて、“COV-Idiot”(コビディオット=コヴィッド馬鹿)なんて言われるのは真っ平だと笑わせた後、「でも、GOV-Idiot(政府馬鹿)なんて呼ばれるよりはマシだから」と続けた。

## ●ロシア連邦保安庁がウクライナのテロ要員を逮捕(2022年11月8日)

FSB(ロシア連邦保安庁)は、ケルソン州行政の最高幹部に対するテロ攻撃を任務とするウクライナ保安庁の妨害・偵察グループを拘束した。爆発装置、手榴弾を押収し、その後 9 人のウクライナ人は逮捕された。

[https://twitter.com/tobimono2/status/1589892324309741568?t=U3\\_wcEOgHR3jaHPSPTEGSQ&s=09](https://twitter.com/tobimono2/status/1589892324309741568?t=U3_wcEOgHR3jaHPSPTEGSQ&s=09)



### ●スコット・リッターのウクライナ戦争の見方(2022年11月8日)

ウクライナはジャベリン、ハイマース、バイラクタル、NATO 榴弾砲などすべてを手に入れた。そして、そうすることで失敗した。彼らの都市を爆撃し、仲間を殺し、盗み、嘘をつく以外、AFU(ウクライナ軍)は何もできないことが判明したのだ。(Scott Ritter チャンネルより)

※安斎注

### ●ウクライナのドローン攻撃を免れたロシア兵の機転(2022年11月8日)

ウクライナ 軍の ドローン から爆撃を受けるも、機転を利かせ生き延びた #ロシア 人兵士の映像が SNS に共有された。この動画はメッセージアプリ「テレグラム」で拡散されたもの。

[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1589938964818890753?t=ZfgrSpEf0WVaKfCZB5B9w&s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1589938964818890753?t=ZfgrSpEf0WVaKfCZB5B9w&s=09)



落ちてきたドローンを手づかみして放り投げた。

### ●アメリカの志願兵がドンバスに到着し、ドネツク民兵に加わった(2022年11月8日)

[https://twitter.com/nanpinQD/status/1589637494806831105?t=PFPnS36iy\\_s0SNSddZ0FYHw&s=09](https://twitter.com/nanpinQD/status/1589637494806831105?t=PFPnS36iy_s0SNSddZ0FYHw&s=09)

「こんにちは、私たちはusからドバスに到着したばかりです。私はテキサス出身で、友人はデトロイト

出身で、ミネソタ州や他の州からの仲間もいます。私たちはグローバリズムと戦うためにここにいます。新しい世界秩序のために、ナチズムと戦うためにここにいます。ロシアは、グローバリズム、リベラリズム、そしてアメリカが破壊しつつある新しい世界秩序と戦っている地球上で最後の場所です。

カナダ、アメリカ、またはヨーロッパの兄弟であるあなたがナチズムの側にいる場合、あなたの最善の解決策は家に帰ることです。

したがって、家に帰って、ここで何をしているのかを再考する必要があります。私は私たちのために話しますが、ほとんどのアメリカ人もリベラリズムが好きではないと思います。

皆さん、これは世界最後の戦いです、私たちをサポートして戦わせてください。さもなければ、この病気が引き継がれるでしょう。」



## ●米高官、ロシアとの「対話継続」認める。戦争の影響を受ける国の「利益につながる」と(2022年11月8日)

アメリカのジェイク・サリヴァン大統領補佐官(国家安全保障問題担当)は7日、ウクライナとロシアの戦争が続く中、アメリカ政府とロシア政府の対話チャンネルは開かれたままだと認めた。

サリヴァン大統領補佐官は訪問先のニューヨークで、ロシア政府との連絡を維持することはアメリカの「利益のため」だと述べた。

米紙ウォール・ストリート・ジャーナルは6日、サリヴァン氏がこの数カ月間、ロシアのニコライ・パトルシェフ安全保障会議書記とロシア政府の外交政策補佐官ユーリ・ウシャコフ氏と極秘協議を行っていたと報じた。

政府高官が同紙に語ったところによると、3人はウクライナでの戦争における核のエスカレーションを回避する方法について協議したが、戦闘そのものを終わらせる方法に関する交渉には至っていないという。

サリヴァン氏は先月、核兵器の使用は「ロシアにとって破局的な結果」をもたらすことになる」と指摘。政府高官がロシア当局者との非公式協議で、もしロシアが核兵器を使った場合、アメリカはどれだけの対応をする可能性があるか、その規模を「詳しく説明」と米NBCに語っていた。

米国家安全保障会議(NSC)のエイドリアン・ワトソン報道官は同紙に対し、「人はいろいろなことを主張するものだ」と答え、報道内容を認めなかった。一方でロシア政府のドミトリー・ペスコフ大統領報道官は、西側の新聞が「複数のでっちあげを掲載している」と非難した。

ホワイトハウスのカリーン・ジャン＝ピエール報道官は7日、アメリカはロシアと協議する権利を留保していると述べた。

バイデン政権でロシアとの協議継続を今も求める幹部の中でも、サリヴァン補佐官は最高位にある1人だとされる。そのサリヴァン氏は、アメリカがロシアと接触し続けることは、「この紛争の影響を受け

るすべての国の利益」につながるとしている。



## ●ウクライナ、停戦交渉再開を否定。ロシア敗北が必要と各国に理解求める(2022年11月8日)

ロシアの侵略を受けるウクライナのゼレンスキー大統領は7日の声明で、ロシアとの停戦交渉の再開には「ウクライナ領の回復と戦争犯罪者の処罰、ロシアによる損害賠償が必要だ」などと述べ、現時点で交渉の再開に応じることはできないとする認識を示した。戦闘の長期化で交渉再開を求める声が欧米諸国などで高まっていることを念頭に置いた発言とみられる。

これに先立ち、米紙ワシントン・ポストは5日、バイデン米政権がウクライナに、対露交渉を拒否する姿勢を改めるべきだと非公式に勧めたと報道。イタリアメディアも7日、「南部ヘルソンをウクライナ軍が奪還した後に交渉が再開されるべきだ」と米国と北大西洋条約機構(NATO)が考えていると伝えていた。

ゼレンスキー氏は「われわれは交渉を提案してきたが、ロシアはテロ攻撃や砲撃、脅迫で応じてきた」と強調。ロシアを交渉に応じざるを得ないようにするために国際社会は対露圧力を強化すべきだと訴えた。

ウクライナのポドリャク大統領府長官顧問も7日、ツイッターで「ウクライナは一度も停戦交渉を拒否したことはない」と指摘。交渉が実現しない責任は、前提となる軍の撤退に応じないロシア側にあるとした。

ウクライナは「安易に停戦に応じれば将来的にロシアの再侵攻を招く」とし、再侵攻を防ぐにはロシアの敗北が必要だと主張。国際社会からウクライナに譲歩を求める声が高まる事態を警戒している。

※安齋注:もう意地しかないかも。戦況を含めて客観的に見られなくなって、主観の赴くままに発言しているのでしょう。気の毒なのはウクライナ国民ですが、ウクライナの人々の生の声が依然として聞こえてきません。



## ●マッカーシーは、共和党主導の下院がウクライナへのさらなる援助に反対する可能性が高いことを示唆(2022年10月18日)

下院少数党院内総務のケビン・マッカーシー(共和党、カリフォルニア州)は、来月の中間選挙で共和党が下院の過半数を獲得した場合、共和党はロシアとの戦争でウクライナへのさらなる援助に反対する可能性が高いことを示唆している。

2月の侵略以来、議会の共和党員と民主党員の大多数は、ウラジーミル・プーチンの侵略に対する地政学的および道徳的立場として、キーウへの数十億ドルの米軍および人道支援を承認することで団結しました。

共和党が勝利した場合、下院議長になる可能性のあるマッカーシーは、それが共和党主導の下院で終わる可能性があることを示しました。

「人々は不況に陥り、ウクライナに白紙の小切手を書くつもりはないと思います」と彼は最近パンチボウルニュースに語った。「彼らはそれをしません。」

マッカーシーは、アメリカ人は議会が家の近くの問題に集中することを望んでいると示唆した。



## ●ウクライナへの軍事支援にノーと言おう(共和党候補のアピール、2022年11月)

ウクライナへの軍事支援の「ノー！」を。共和党員としてわれわれが守るのは我々の国境です。ウクライナは、米国が彼らに費やしたすべてのドルを支払わなければならない。

あなたの一票が重要です！



※安齋注:不通は軍事支援をしたら戦後に支援を受けた国は支援国に返済義務を負うのですが、ウクライナ紛争の場合、返済義務を免除したと依然伝えられました。

## ●ロシア国防省、太平洋艦隊第 155 海兵旅団での大きな損失に関する情報を否定(2022年11月7日)

ロシア連邦国防省は、太平洋艦隊 (Pacific Fleet) の第 155 海兵旅団の軍事装備と人員が大量に失われたとされる情報を否定した、と連邦通信社は報じている。

米国防総省は、パブロフカ地域でのロシア海兵隊の多大な損失についてウェブに掲載された情報は完全に真実ではないことを指摘した。

彼らによると、部隊はウグレダル方向で 10 日以上効果的な攻撃作戦を実施しており、ウクライナ軍の防御陣地に深く入り込んでいる。

ロシア国防省は、太平洋艦隊の第 155 海兵旅団の軍人に代わって広められたとされる、「人と装備の無用な損失」に関するブロガーの声明を否定しました。国防省で指定されているように、ウルダー方向への攻撃中の海兵隊の損失は「戦闘力の 1%と負傷者の 7%を超えず、そのかなりの部分がすでに任務に復帰している」。

以前、ヘルソン地域の行政副長官であるキリル・ストレムソフは、ウクライナ軍がかなりの数の戦車と装甲車両をヘルソンの方向に引っ張っていると述べた。

ロシア軍は 2 月 24 日以来、ウクライナ領土で特別作戦を実施している。ロシアのウラジーミル・プーチン大統領が発表した。



## ●西側の禁輸措置がロシアに効かない「3 つのシナリオ」(2022年11月8日)

ウクライナ情勢の悪化以来、米国や欧州をはじめとする嫌露西側グループの諸国は、ロシア産の石油、ガス、石炭などの貿易に対して様々な制限を課している。

12 月には欧州連合 (EU) のロシア産石油禁輸措置のほか、日本を含む主要 7 カ国 (G7) によるロシア産石油への上限価格が導入される。また、欧州ではロシア産ガスへの禁輸措置の議論も活発に行われている。

そうしたなか、英紙「エコノミスト」は、どう転んでも禁輸措置が功を奏することはなく、西側諸国を待ち受けるのは資源の争奪戦と経済崩壊だと指摘し、3 つのシナリオを紹介している。

同紙が描く第 1 のシナリオは、EU が予定通りロシア産石油を禁輸し、ロシア産資源を運ぶ貨物船への保健適用を禁止するというもの。アナリストは、これによって欧州がアクセスできるエネルギー資源の量が減り、年間需要の 17 パーセントにも上るガス不足 (量にして 840 億立方メートル) が到来すると予想する。

コンサルティング会社「マッキンゼー・カンパニー (McKinsey & Company)」のナミット・シャルマ氏は次のように述べている。

『ノルドストリーム』（ロシアから欧州へ天然ガスを供給するパイプライン。現在は供用停止中）が来年に再開しなかったら、欧州のエネルギー不足は悪化の一途をたどり、資源の節約もより一層厳しくなるだろう」

ロシアはというと、このシナリオではアジアで別の買い手を見つけられただけなので、ほとんど失うものはないという。

**第2のシナリオ**はロシアの対抗措置による「エスカレーション」。ロシアがウクライナを経由するガスパイプラインの栓を占めると、EU は年間で数百億立方メートル規模のガスを失うことになる。

そうなれば欧州は石油のときと同じようにロシア産ガスの上限価格の設定という形で追加の対抗措置を取ることになりそうだ。

だがそうした場合、クレムリン（ロシア）は石油減産を求めて石油輸出機構（OPEC）諸国に掛け合い、相殺するというオプションもある。すでに 10 月には OPEC+ がバイデン米大統領の期待を裏切り、ロシアに有利な減産に舵を切ったことも忘れてはならない。

**第3のシナリオ**は最も極端なもので、ロシアがトルコを経由するパイプラインやノルウェー経由のガス供給を止めるというもの。これによって欧州は年間 700 億立方メートルのガスを失うことになり、経済的には 2023 年に 2 兆 5000 億米ドル（365 兆円）、2024 年に 2 兆ドル（292 兆円）の経済的損失を被ることになる。

西側諸国は自らの発動した対露制裁によって、深刻なエネルギー不足や高インフレに悩まされており、労働者階級である一般国民にしわ寄せが及んでいる。だが現在のところ、無益な対露制裁合戦をやめて真に国民の生活を第一に考えるリーダーは西側諸国には現れていないようだ。



## ●ハンガリー、EU のウクライナへの共同支援計画に反対（2022年11月8日）

ブダペストは、共同で調達した資金でキエフを支援するブリュッセルの計画を支持しない、とブルームバーグはハンガリー外相ペーター・シジャルトを引用して報じた。

大臣は今日、ソフィアでの会議で話した。とりわけ、彼は、彼の国がウクライナを支持しており、今後とも支持すると述べた。

同時に、シジャルト は、ハンガリーは他の EU 加盟国と共同で資金提供が行われるいかなる協定にも反対していると強調した。

先週、EU は 2023 年に向けてウクライナに 180 億ユーロの新たな援助パッケージを提案した。この計画は、キエフのための資金を調達するための保証として、組合の予算を使用することを規定している。

このような動きには、27 の加盟国の全会一致の支持を必要とする規則の変更が含まれる。

ハンガリーはこれまで、COVID-19 のパンデミック後、組合の経済を回復するために共同で債務を調達するという EU の決定を支持していたが、法律に反対する主張のために、まだその取り分を受け取っていない。

9 月中旬、欧州委員会は、欧州連合の予算と財政的利益を「ハンガリーの法の支配の原則の違反から」保護するために、ブダペストに関連する条件メカニズムを導入することを EU 理事会に提案した。

このような動きは、同国に対するブリュッセルからの約 75 億ユーロの援助を凍結することを意味する。これは、2 年前にコミュニティ予算を汚職から保護するための条件付きメカニズムが作成されて以来、EU の歴史上初めてのケースである。



## ●軍事技術情報:ロシアの巡航ミサイル X-32(2022 年 11 月 8 日)

「空母キラー」と呼ばれるロシアの巡航ミサイルが、特殊な軍事作戦で高精度の攻撃を行なうためにしようされている。いずれもウクライナ軍(AFU)の防空システムで迎撃されることはなかった。

RIA Novosti 通信は情報源を引用して、ウクライナでの特別作戦で超音速の X-32 巡航ミサイルを使用したと記述している。

2016 年にロシア軍に就役したこのミサイルは、新型と呼べるものである。ロシア空軍は、X-32 が開発された近代化爆撃機 Tu-22M3M をまだ受け取ってさえいない。旧改造の Tu-22M3 機数機は、この弾薬を使用できるように特別に再装備された。

特殊作戦の過程で、Kh-32 ミサイルはウクライナの軍事インフラを複数回にわたって攻撃した。戦闘状態では、この弾薬が精密誘導兵器であることが確認された。また、ウクライナの防空システムは、そのようなミサイルを 1 発も迎撃することができなかった。

このミサイルは水上艦を破壊するために設計され、空母群の防空システムを貫通することができる。

この弾薬の最高速度は極超音速に近く、ミサイルは 1,000 キロメートル離れた目標に命中させることができる。X-32 は、水上艦艇だけでなく、地上の小型目標に対しても同等の効果を発揮することが、戦闘用途で実証されている。



## ●ベルリンでウクライナへの武器供与反対デモ(2022年11月8日)

昨日ベルリンで、平和活動家たちはウクライナへの武器供給に抗議した。抗議者たちは多くのロシアの旗を持っていました。集会は地元当局と調整されていませんでしたが、警察は誰にも触れませんでした。

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1589638986494267393?t=3hRzdrkDmsvhOhYpAcSjQ&s=09>



すべてをチェックしよう

自分で考えよう

## ●不発弾処理(2022年11月8日)

LNR(ルハンスク人民共和国)と DNR(ドネツク人民共和国)の前線地域にはウクライナの不発弾が非常に多という。ロスグバルディヤの工兵は、ほぼ毎日、不発弾の処理を行わなければならない。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1589893999460253696?t=Y4il21OSkavv8HT5ODRoQ&s=09>



## ●ロシアの電力インフラ攻撃によるウクライナの停電(2022年11月8日)

400 万人以上のウクライナ人が電力供給を遮断され、首都とその郊外が最も影響を受けていると、ウクライナのウラジーミル・ゼレンスキー大統領は日曜日に主張した。彼の声明は、モスクワがキエフを「妨害」攻撃で非難した後、彼の国の電力インフラに対するロシアの数週間の攻撃に続くものです。

テレグラムに投稿された演説で、ゼレンスキーは、日曜日の夕方時点で、キエフと他の 6 つの地域で停電が続いていると述べた。「450 万人以上の消費者が電気を失っています。それらのほとんどは現在キエフとキエフ地域にあります。本当に難しいです」と彼は言いました。

ウクライナの指導者は、政府がすべての可能なエネルギーシナリオに備えていることを保証しました。「テロリストが何であれ、彼らが求めているものが何であれ、私たちはこの冬を乗り切り、春には今よりもさらに強くならなければなりません」と彼は強調し、ロシアはウクライナの重要なインフラストラクチャに対するより大規模な攻撃に備えて軍隊を集中させていると主張した。

「ロシアはこの特定の目的のためにイランのミサイルを必要としています。」ゼレンスキー氏は、ウクライナは「対応を準備している」と付け加えたが、詳細は明らかにしなかった。

ロシアとイランの両方が、テヘランがウクライナ紛争で使用される弾道ミサイルをモスクワに供給しているという報告を繰り返し却下している。

ウクライナの悲惨なエネルギー状況を考慮して、キエフ市政府の安全保障局長であるローマン・トカチュクは土曜日にニューヨークタイムズに、地方自治体はロシアの攻撃による完全な停電の場合に首都から約 300 万人を避難させるための緊急時対応計画に取り組んでいると語った。

ウクライナは、モスクワが戦略的なクリミア橋を含むロシアの構造物を標的にしたとしてキエフを非難した後、10月10日に発電所を含むエネルギー施設への攻撃を開始して以来、計画停電を経験しています。ウクライナ当局によると、ロシアの攻撃は国のエネルギーインフラの最大40%を破壊または損傷しました。



## ●ウクライナ支持のソーシャルメディアアカウントはほとんどが偽物(2022年11月8日)

ウクライナ戦争でも一方的なウクライナ支援、ロシアは悪いという報道は、これでもかというくらい流されますが、ウクライナに不利な情報は、ほとんどシャットアウトされています。実際はどうなのでしょう？

アデレード大学の研究チームは、2022年のロシア・ウクライナ侵攻の初期の数週間における80%ものツイートが、自動化された偽の”ボット”アカウントから発信された秘密プロパガンダキャンペーンの一部であることを発見した。

ここに「大規模な反ロシア”ボットアーミー”、オーストラリアの研究者が暴露」という記事があります。ほとんどの圧倒する情報がウクライナ支援という意図に沿って、TikTok や YouTube や Twitter で表示される情報が操作されているという衝撃的な研究者の調査結果が明らかになっています。

<https://quietsphere.info/anti-russian-propaganda-exposed/>



※安齋注:「反ロシア・ボットアーミー」についてはすでにお知らせしましたが、「ウクライナがんばれ!」の声がこんなにあるんだと思っていたら、実は自動ロボット応援団の声だったという現代戦のインチキ作戦だったという訳。